



春日部市立桜川小学校 令和6年5月30日発行

桜っ子

6月号

児童数579人

春日部市大倉496-1

TEL 746-6238

(5/30)

桜川小HP <https://schit.net/kasukabe/essakuragawa/>

学校教育目標

進んで学ぶ子

(かしこく)

思いやりのある子

(やさしく)

体をきたえよく働く子

(たくましく)

「瞳輝く 桜っ子」を地域と共に はぐくむ やさしさと笑顔あふれる学校

6月の生活目標

右側を静かに歩こう

桜っ子ギャラリー



離任式

学校探検

防犯教室

子ども達の日々の様子をブログでも紹介しています。ぜひご覧ください。



50回目の「誕生日」によせて ～未永く愛される「まなびや」に～
校長 小野 誠

間もなく6月になります。季節外れの暑さの日があったかと思えば、雨が降り肌寒く感じる日もあるなどなかなか安定しない気候ですが、日々、友達や先生方と学び合い、思い合い、鍛え合いながら成長を続ける桜っ子は、今日も元気いっぱいです。

さて、5月30日は桜川小学校の誕生日「開校記念日」です。そして、今年の開校記念日は50回目の特別な「誕生日」となります。そこで、本校の開校にまつわる話を今号では少し紹介させていただきます。

本校は、南桜井小、川辺小の児童数急増に対応するため、両校の中間の位置にあった(当時の)葛飾中の敷地、校舎等を利用する形で昭和50年4月に開校しました。校名は公募により、南桜井の「桜」と川辺の「川」を一文字ずつとる形で「桜川小」となりました。開校当時の児童数は925名でした。(最も児童数が多かったのは昭和57年度の1515名です。)そして、本校の校歌は開校から5年後の昭和55年に制定されました。作詞者は宮沢章二さん。「行為の意味」(東日本大震災直後に繰り返しテレビで放送されたACジャパンのCM『心』は誰にも見えないけれど、『こころづかい』は見える。『思い』は見えないけれど、『思いやり』は誰にでも見える。)のフレーズで有名な作者としても有名な宮沢さんは、作詞をするため本校の取材に訪れた際に、子供たちと先生方が仲睦まじく楽しく活動する様子をご覧になりました。「明るい学校だから明るい歌に」との想いを込めて詩を作ったと後日語られていたそうです。

そうしてできた本校の校歌一番には「まなびや桜川」というフレーズが出てきます。あえて『まなびや』という和語を使ったのは、

「未永く地域に愛される『ふるさと』のような学校に」という想いを宮沢さんが込めてくれたのだと私なりに解釈し、「地域ぐるみでそんな学校を創り上げてまいりたい」と、改めて感じた次第です。

今後とも、「まなびや桜川」と桜っ子を、どうぞよろしく願いいたします。



水泳学習に向けて(プール清掃・心肺蘇生法研修会)

6月から始まる水泳学習に向け、準備を進めています。5月17日金曜日に5年生、22日水曜日に6年生によるプール清掃が行われました。かなり汚れが目立っていましたが、子供たちの頑張りで見るときれいなになりました。教職員も心肺蘇生法研修会を実施し、いざという水の事故にも備えております。熱中症や感染症に気を付けながら、安全に進めてまいります。



令和6年度 教科書展示会

開催のお知らせ

会場：春日部市役所(春日部中央7-2-1)

期間：6月14日(金)～6月29日(土)

時間：9:30～16:30

(土曜日は12:00までの開催。日曜日は開催しません。)



留守番電話の設定時刻について

埼玉県教育委員会では、ワークライフバランスの確立を目指し、毎月21日を「ふれあいデー」としております。

そこで、本校では毎月21日、ふれあいデーの留守番電話の設定時刻を、職員の勤務終了時刻の16時30分に設定させていただきます。ご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。